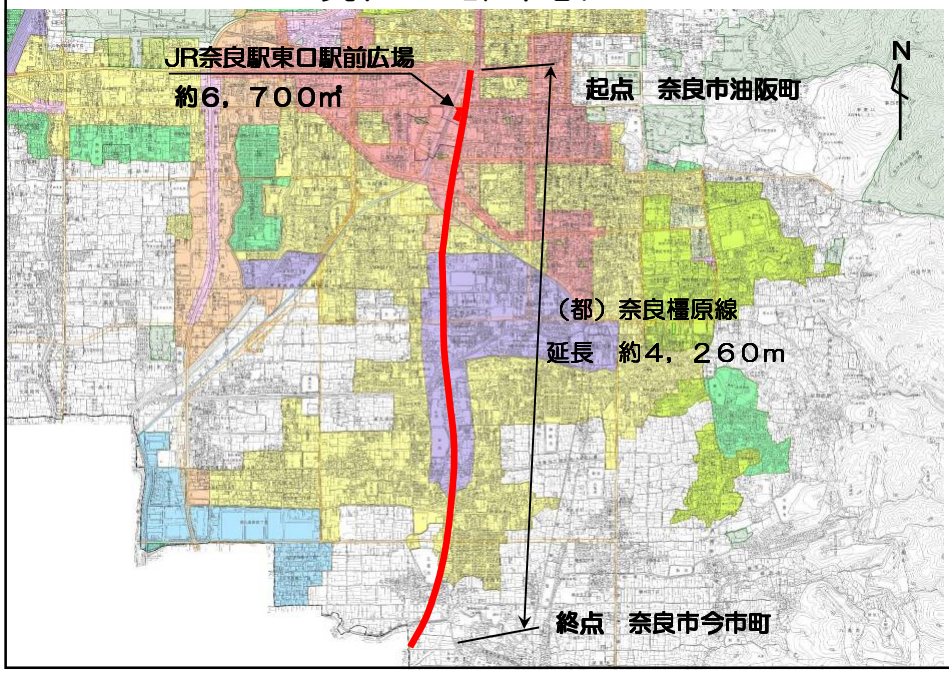
都市計画道路　奈良橿原線
（JR奈良駅東口駅前広場）

都市計画変更（案）　説明会

１．都市計画変更の概要

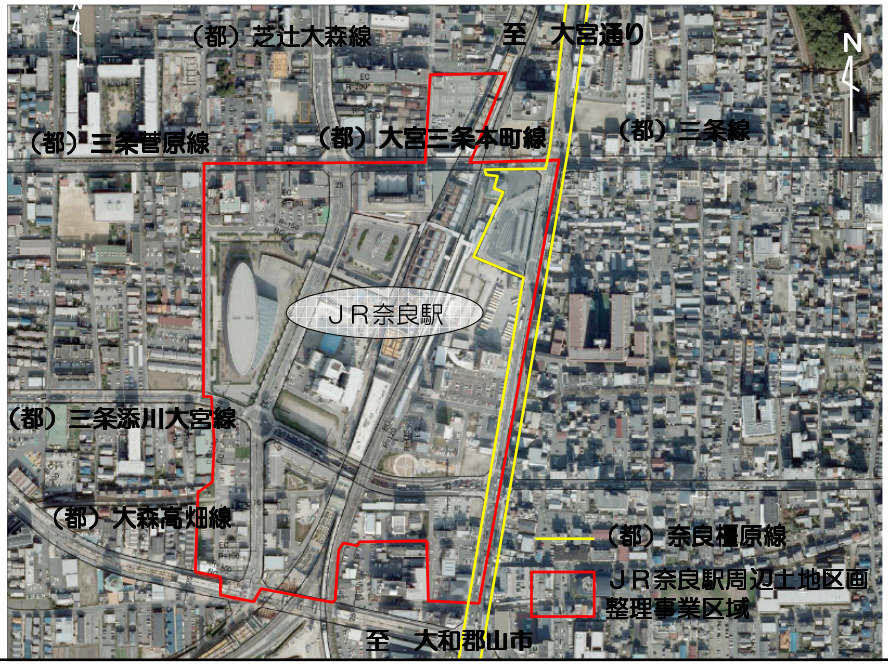
現在の都市計画



現在の都市計画

【区間】
（自）奈良市油阪町
（至）奈良市今市町
【延長】
約4，260m
【車線数、標準幅員】
車線数　：　2車線
標準幅員　：　16m
【駅前広場】
約6，700㎡（JR奈良駅東口駅前広場）

ＪＲ奈良駅付近の現況



ＪＲ奈良駅付近における事業の経緯

S６２.１１	ＪＲ奈良駅周辺土地区画整理事業の基本計画承認
S６３.２	土地区画整理事業、都市計画道路の都市計画決定
S６３.７	土地区画整理事業　１９．６ｈａ　事業決定
H３.１０	土地区画整理事業の仮換地指定
H９.２	ＪＲ奈良駅付近連続立体交差事業の都市計画決定
H１０.３	ＪＲ奈良駅付近連続立体交差事業の事業認可
H１５.９	仮駅舎供用
H１６.５	旧駅舎曳き家工事
H１８.５	土地区画整理事業の換地処分

都市計画の変更理由

ＪＲ奈良駅付近連続立体交差事業による、鉄道の高架化に伴い発生する高架下空間の利用計画が固まった現時点において、

将来の駅前広場の利用者数や利用形態を踏まえた交通空間や、国際文化観光都市の玄関口として必要な環境空間を駅前広場に創出するため、新たな区域を追加する都市計画の変更を行う。

２．現状における課題

車道上に停車するバスが交通を妨げている状況①

車道上に停車するバスが交通を妨げている状況②

広場出口に信号がなく、危険な状況

バス乗降場へ行くために、信号のない
横断歩道を渡る必要があり危険な状況

３．都市計画変更の概要

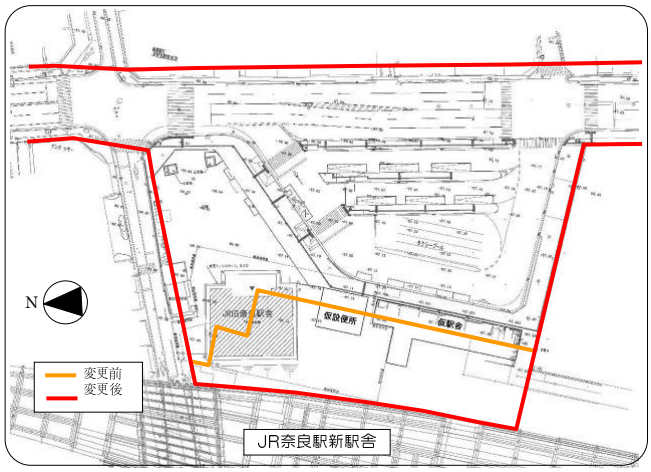
都市計画変更の内容

・駅前広場面積：変更前　約６，７００㎡

変更後　約８，９００㎡

□新旧対照図（参考図）

【縮尺１／２，５００の地形図に変更後の区域を表示した図面が法定図書となります】



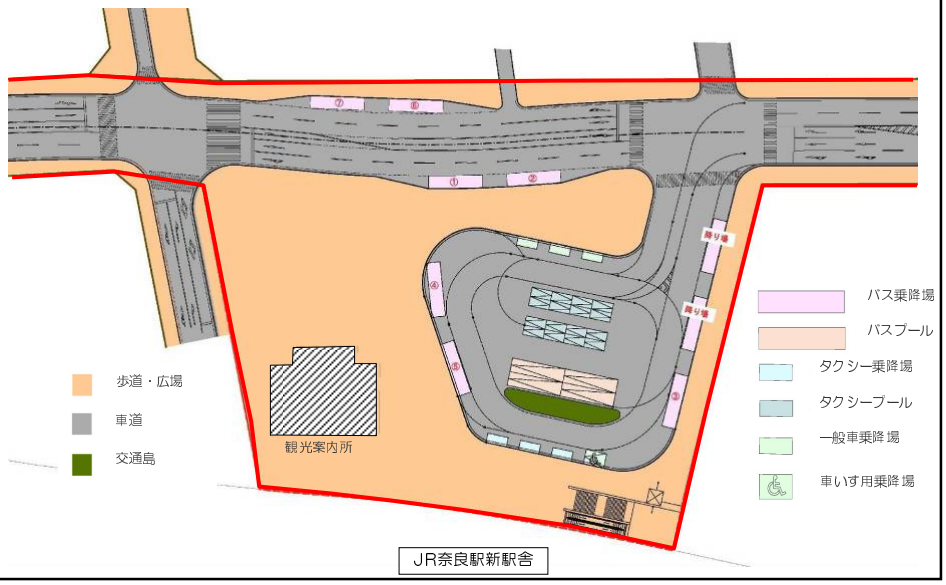
ＪＲ奈良駅における東西駅前広場の分担

（参考）将来における東口、西口駅前広場の交通施設数

施設	東口	西口	合計
バス乗降場	9※	7	16
バスプール	4	8	12
タクシー乗降場	3	3	6
タクシープール	16	30	46
一般車乗降場	3	4	7
車いす用乗降場	1	1	2

※本線上に設けるバス乗降場も含む。

□計画平面図（参考図）
【縮尺１／２，５００の地形図に変更後の区域を表示した図面が法定図書となります】



４．整備効果

整備効果

【交通安全の確保】

駅前広場の出入り口を一ヶ所に集約し、また、本線上のバス乗降場を車道とは別に確保し交通流の円滑化を図ります。

※イメージ図です。

整備効果

【交流機能の充実】

国際文化観光都市の玄関口にふさわしい環境空間を確保し、憩い・集いの場を創出することで、交流機会が増大します。

※イメージ図です。

5．都市計画の手続き

都市計画で定める内容

・縮尺１／２５００の地図上に、位置及び区域を定めます。

・道路の幅員、車線数及び道路構造の基本的な形式（高架、平面などの別）を定めます。

都市計画の手続き

都市計画変更原案の立案 ⇨ 地元説明会 ⇨ 都市計画変更案の作成 ⇨ 公告・縦覧、意見書の提出（２週間） ⇨ 奈良市の意見 ⇨ 奈良県都市計画審議会 ⇨ 国の同意（国土交通大臣） ⇨ 都市計画変更の決定告示

現在の段階

都市計画決定後の流れ

事業化 ⇨ 測量・調査 ⇨ 設計 ⇨ 用地買収 ⇨ 工事 ⇨ 完成・供用

※事業を進めていく中で、必要な段階で地元説明会を通じて、住民の皆様に情報提供するよう努めてまいります。